

愛知医大を受診された患者さんへ

当センターでは、下記の研究を実施しています。この研究は愛知医科大学医学部倫理委員会において審査され病院長により承認された研究です。今回の研究は、対象となる方一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象となる事を拒否できる機会を与えることが求められている研究です。もしこの研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	腫瘍免疫環境の改善に伴うネオ抗原に対する免疫の活性化に基づくがん免疫治療開発に向けた基盤的研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	研究創出支援センター
研究責任者	准教授 鈴木 進
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	協和キリン株式会社 研究開発本部疾患サイエンス第2研究所 所長 天野徹、主任研究員 石井俊彦 [Redacted] [Redacted]
研究の意義・目的	有効ながん免疫療法を確立するために、患者の腫瘍内免疫環境を明らかにし、免疫抑制をとり除くことは極めて重要です。本研究では、頭頸部がん、造血器腫瘍患者を対象に、腫瘍内免疫抑制環境とネオ抗原に対する免疫活性化との関係を明らかにし、免疫再活性化が期待される治療標的分子の組み合わせ、並びにバイオマーカーについて検討し、腫瘍内免疫環境の改善に基づく新たながん免疫療法の開発の為の基盤データを蓄積します。
対象となる患者さん	2008年4月1日から2021年11月5日までに当院にて頭頸部領域のがんと診断され、手術を受けられた方。また、DLBCL、HL、FL、MM、MDS、AML、CML、メトトレキサート（MTX）関連リンパ腫と診断され、腫瘍の採取を受けられた方。
研究の方法	当院に保存している血液や、がん組織、骨髄などの凍結組織、細胞、及びパラフィン包埋ブロックより切り出した薄切切片を用いて、血液中や、組織内で発現している様々な分子を検出することで、がん

	組織における免疫環境を調べます。
研究期間	倫理審査承認日から 2025 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報	血液、腫瘍組織・切除リンパ節標本、年齢、性別、病名などの診断情報
外部への試料・情報の提供	協和キリン株式会社、 XXXXXXXXXX 株式会社との共同研究の為、当該施設と解析データなどを共有します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、お名前、ご住所など、個人を特定できる情報は削除して利用します。また、研究結果は学会・論文などで発表されますが、個人が特定できる個人情報は一切公開されません。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先までお申し出ください。
その他	本研究は、協和キリン株式会社、 XXXXXXXXXX 株式会社からの共同研究費と本学講座研究費を合わせて実施します。
問い合わせ先	愛知医科大学 研究創出支援センター 准教授 鈴木 進 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話：0561-62-3311（内線 11426） Email：suzukis@aichi-med-u.ac.jp